

女子学生等を対象とした職業説明会 (ワンデイ・インターンシップ) の開催について

消防・救急課

令和元年12月に東京都、令和2年1月に大阪府、2月に福岡県において、令和元年度「女子学生等を対象とした職業説明会(ワンデイ・インターンシップ)」(以下「インターンシップ」という)を開催し、3会場合計56消防本部にご協力をいただき、女子学生等242名の参加がありました。



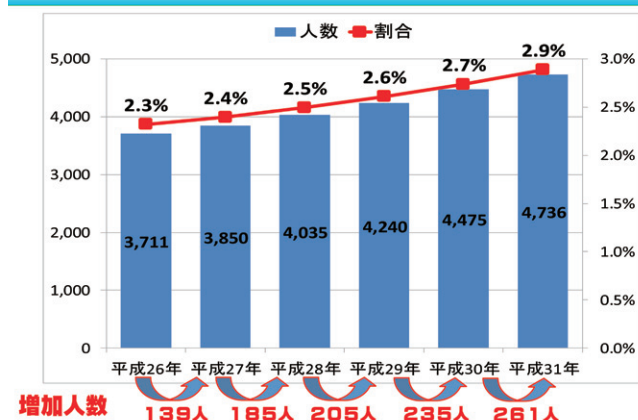
【開催周知チラシ】

消防庁では、平成27年に開催した「消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会」の提言内容を踏まえ、消防吏員に占める女性消防吏員の全国の比率を、令和8年度当初までに5%に引き上げることを共通目標としています。

この目標達成に向けた取組の一つであるインターンシップは、消防を目指す女性を増やすため、これから社会人となる年齢層の女性に、消防の仕事の魅力と消防分野で女性が活躍できる可能性を知ってもらい、興味をもってもらうきっかけ作りを行うため、各消防本部と連携して平成28年度から開催しているものです。

女性消防吏員については、年々増加しているものの、平成31年4月1日現在4,736人(2.9%)となっており警察官9.8%(地方警察官に占める女性警察官の割合)、自衛官6.9%、海上保安庁7.5%といった他分野と比較しても少ない状況となっています(自衛官は平成30年度未現在)。

女性消防吏員割合(平成31年4月)



【女性消防吏員割合の推移】

インターンシップの開催状況

当日の会場では、開催地の消防本部(東京消防庁、大阪市消防局、福岡市消防局)の女性消防吏員を代表する立場から、女性消防吏員1名が「消防の組織や仕事の紹介」、「女性消防吏員のキャリアプラン」、「消防業務の魅力」について講演しました。



【女性消防吏員による講演の様子(東京会場)】

また、その後は、事前に応募いただいた中から選ばれた3名の女性消防吏員によるパネルディスカッションが開催され、「消防士になったきっかけや理由」、「現在の職場の様子」、「体験談や入職後のギャップ」などについて発表し、参加者からの質問も受け付けました。



【パネルディスカッションの様子（福岡会場）】



【撮影ブースの様子（大阪会場）】

パネルディスカッション後には、各消防本部ブースや座談会方式により、消防本部の組織や特徴等について説明及び現役女性消防吏員との対話の機会を設け、様々な疑問にもきめ細かく対応しました。



【消防本部ブースの様子（大阪会場）】



【座談会の様子（福岡会場）】

また、会場では、消防吏員が日頃着用している、活動服、救急服や救助服、防火衣、制服などの試着体験及び撮影ブースでの撮影も行いました。



【試着体験コーナーの様子（大阪会場）】

参加者の感想

- ・最初は男性の仕事というイメージが強く、女性が活躍できる職場なのか疑問を持っていましたが、女性が活躍している仕事が多く、消防士のイメージが大きく変わりました。
- ・今日のインターンシップを通して消防の仕事内容、試験制度、大変さとそれを上回る魅力ややりがいについて知ることができました。

ブース出展した消防本部の感想

- ・職業選択のひとつとして女性消防吏員の現状や採用について広く知ってもらえる貴重な機会でした。また、他市の取り組みを知ることでもでき、今後の広報に活用したいと思います。
- ・採用試験の応募者を確保することが困難となってきた状態で、来場者の方々と近くで話をできることが、消防を知ってもらう上でも効果的だと思います。

今年度のインターンシップは、過去に学生で参加していた方が今回は消防吏員として参加しているなど、主催者としてこれまでの取組の成果や今後の楽しみを確認できるとともに、参加者や消防本部には新たな気づきを得てもらえた1日となりました。

今後も、消防の仕事の魅力と消防分野で女性が活躍できる可能性を知ってもらえるよう、女性消防吏員の活躍推進を行ってまいります。

問合わせ先

消防庁消防・救急課
TEL: 03-5253-7522